

日常の小さなモヤモヤや不満をブランド戦略へ

問題発見から実装まで企業や事業のブランディングをサポート

うっぶんこうぶん

『鬱憤構文®ワークショップ for ブランディング』 提供開始

株式会社電通 PR コンサルティング（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山口恭正、以下電通 PRC）は、生活者が抱える鬱憤（うっぶん）やモヤモヤした経験・感情を発掘し、アイデアに発展させるためのワークショッププログラム「鬱憤構文®ワークショップ for ブランディング」の提供を開始しました。



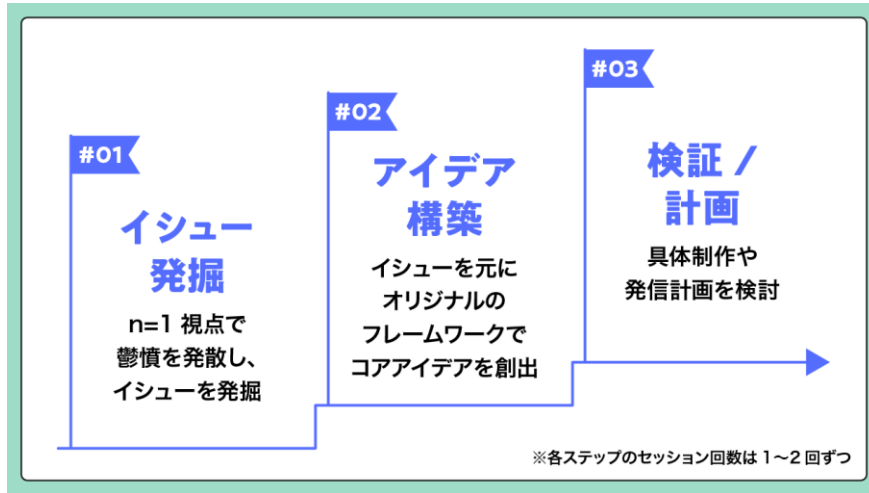
SDGs、DEIの視点が重視される昨今、企業価値やブランド価値を向上させていくためには、事業活動を通じて社会的な問題を解決することが求められます。電通 PRC では、まだ大きな問題にはなっていないまでも、すでに個々の生活者の中に存在し始めている「n=1の鬱憤」を発掘し、解消につながるコミュニケーションアイデアに発展させるためのワークショッププログラムを提供します。

*「鬱憤構文」は、電通 PR コンサルティングの登録商標です。

■「鬱憤構文®ワークショップ for ブランディング」概要

プログラムの流れ

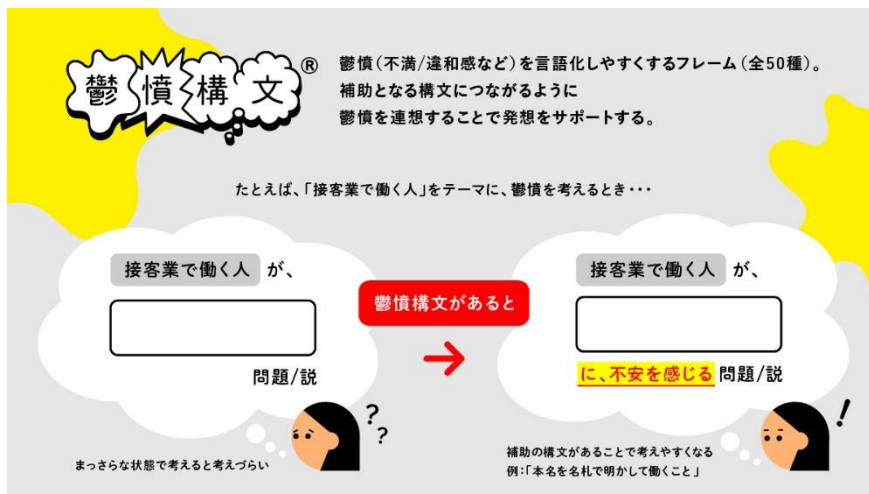
本プログラムは、下記3ステップで実施します。



1. n=1 の問題の発掘

電通 PRC が開発したオリジナルカードツール「鬱憤構文®カード」を使って、生活者が抱えるモヤモヤとした違和感や不満 (=鬱憤) を発掘します。テーマやステークホルダーに関する鬱憤について、このカードに書かれた「○○問題/説」という補助構文 (フレーム) に入るものを連想して考えることで、ゼロから考えるより発掘しやすくなります。

この補助構文は、生活者から表出しやすい鬱憤、モヤモヤした体験や感情をソーシャルメディアの投稿などから分析し、言語化しやすいように設計しています。カードには50種類の補助構文が一枚ずつプリントされています。





2. 問題の設定/アイデア構築

発掘した鬱憤の中で企業やブランドにマッチしたものを、解決すべき問題として具体的に設定します。その後、オリジナルのフレームを活用し、問題を解決するためのコアアイデアを構築していきます。

3. 世の中の反応を逆算した検証/具体化

構築したアイデアをさまざまな視点から検証し具体化していきます。例えば、株式会社電通と電通 PRC が開発した、「メディアがニュースに取り上げたいくなる六つのチェックポイント『PR IMPAKT® (※1)』」などを活用しながら、発信した場合の世の中の反応を逆算し、アイデアを洗練させた上で、実行に向けた具体的な計画を立てていきます。

「鬱憤構文®ワークショップ for ブランディング」は、この三つのステップを電通 PRC メンバーが伴走し、問題発見から実装まで、企業や事業のブランディングをサポートしていきます。

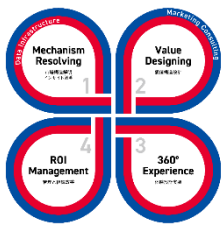
※1：『PR IMPAKT®』 <https://www.dentsuprc.co.jp/pr/pr-impakt/>

実施概要

【実施回数/所要時間】全 3~6 回/各回 2~3 時間程度 ※ご相談内容により変動

【実施場所】対面での実施を想定

【参加人数】受講者上限 30 人まで



「鬱憤構文®ワークショップ」は、dentsu Japan が提唱する事業グロースのための次世代マーケティングモデル「Marketing For Growth」の四つのプロセスのうち、「Value Designing（価値構造設計）」に該当するサービスです。

「Marketing For Growth」については以下リリースをご確認ください。

<https://www.japan.dentsu.com/jp/assets/pdf/news/2024003-0130.pdf>

■株式会社電通 PR コンサルティングについて

電通グループ内の PR 領域における専門会社。1961 年の創立以来、国内外の企業、政府、自治体、団体の戦略パートナーとして、レピュテーション・マネジメントをサポートしています。データ分析を行い、そこから得られたインサイトに基づくコンテンツ開発と最適な情報流通デザインを通して、クライアントと共にソーシャルイノベーションへの貢献を目指しています。2009 年、2015 年には、日本国内で最も優れた PR 会社に贈られる「ジャパン・コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」を、2018 年には「北アジア PR コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」を PRovoke Media (旧 Holmes Report) から授与されています。

<https://www.dentsuprc.co.jp/>